

平成23年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	栄養教諭育成講習事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	学校健康教育課		学校健康教育課長 平下 文康		
会計区分	一般会計		施策名	II-4 健やかな体の育成及び学校安全の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育職員免許法附則第18条		関係する計画、通知等	・学校給食法改正附帯決議(平成20年5月30日衆議院文部科学委員会)(平成20年6月10日参議院文教科学委員会) ・教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	学校における食育の推進の要である栄養教諭の配置が進むよう、現職の学校栄養職員に栄養教諭免許状を取得させる。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	栄養教諭の免許状を取得するためには、栄養に係る教育に関する科目などの単位を取得しなければならないが、学校栄養職員が働きながら通学等で単位を取得するのは困難である。このため、都道府県において夏休みなどに開設する単位取得のための認定講習会の開催に対して補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	—	△3	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
		計	25	16	2	5	1	
	執行額	7	3	1				
	執行率(%)	28.0%	18.8%	50.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	栄養教諭免許状取得者				8,165	8,755	9,080	9,800
			達成度	%	83.3%	89.3%	92.7%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	認定講習会受講者			人	420	128	93 (425)	— (100)
			算出根拠	単位当たりコスト=1.33百万円(支出額)/93人(認定講習会参加者)				
単位当たりコスト	14,301 (円/人)							
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	初等中等教育等振興事業委託費等	5百万円	1百万円					
	計	5百万円	1百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業の予算の執行状況に係る点検方法については、事業完了報告書等の証拠書類により適切な執行が行われているか確認している。 ・当該事業の活動実績に係る点検方法については、ヒアリング等を実施し、事業の実施内容及び活動状況について、適切に管理されているかを確認している。 ・栄養教諭免許状取得のための認定講習会を開催することで、成果目標に向かって、着実に進展していると認められる。 ・開講を希望する地方公共団体に関する見込みと実績に乖離が見られた。今後は、執行状況を的確に把握し、事業規模の見直しをすべきである。 	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、学校における食育の推進の要である栄養教諭の配置が進むよう、現職の学校栄養職員に栄養教諭免許状を取得させることを目的とした事業であり、事業開始から5年以上経過していることから長期継続事業や予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：①食育の推進に関する一連の事業については、平成21年11月の事業仕分けの対象とされており、平成22年度予算において、当該仕分け結果や予算執行状況を反映させた形で見直しを行っている。 ②この事業は、毎年恒常的に予算不用が生じており、予算と実績との差異の要因等を十分精査しつつ、引き続き予算の見直しを図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成22年度実績を踏まえ、育成講習会の開催数を見直すことにより、概算要求額に▲4百万円反映した。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>○事業仕分け第1弾(平成21年11月16日) 事業番号3-28 食育の推進 (1)食育の推進(文部科学省) 予算要求の縮減 (廃止2名 自治体1名 予算計上見送り1名 予算要求の縮減10名(半額6名、1/3縮減1名、その他3名))</p> <p>文科省の食育の推進は、予算縮減という方が10名で、そのうち半額縮減が6名、1/3縮減が1名、その他が3名であった。その他の方々も7割から9割縮減というお立場であった。文科省、農水省、内閣府、厚労省など4府省で重複しているという意見が大多数であった。チームとしては、予算縮減ということでもとめたい。</p>			

文部科学省

1百万円

都道府県における現職の学校栄養職員を対象とした栄養教諭免許状取得のための認定講習会(教職科目や、栄養に係る教育に関する科目の授業開講)の開催を支援する。

【公募・委嘱】

【A】栄養教諭育成講習事業
1百万円
教育委員会(全5機関)

現職の学校栄養職員を対象とした栄養教諭免許状取得のための認定講習会を開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 都道府県教育委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	※1件百万円未満のため省略				
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. 栄養教諭育成講習事業

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	静岡県教育委員会	認定講習会の開催	0.5	委嘱	—
2	東京都教育委員会	認定講習会の開催	0.3	委嘱	—
3	秋田県教育委員会	認定講習会の開催	0.2	委嘱	—
4	宮城県教育委員会	認定講習会の開催	0.2	委嘱	—
5	千葉県教育委員会	認定講習会の開催	0.1	委嘱	—
6					
7					
8					
9					
10					

※端数の関係で支出額の積み上げと資金の流れAのボックスの金額は一致しない。